

学則変更の趣旨等を記載した書類

1 学則変更（収容定員変更）の内容

下記の学部・学科・専攻において、平成25年度から編入学定員（3年次）を設け、収容定員を変更する。

【現行】

学部・学科・専攻		入学定員	収容定員	
家政学部	被服学科	100	<u>400</u>	
	児童学科	50	<u>200</u>	
	ライフデザイン学科	100	<u>400</u>	
文学部	日本文学科	100	<u>400</u>	
	英文学科	100	<u>400</u>	
	コミュニケーション文化学科	100	<u>400</u>	
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	100	<u>400</u>
		環境情報学専攻	100	<u>400</u>
		情報デザイン専攻	100	<u>400</u>
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	75	<u>300</u>
		社会・臨床心理学専攻	75	<u>300</u>
	人間福祉学科	人間福祉学専攻	70	<u>280</u>
比較文化学部	比較文化学科	150	<u>600</u>	



【平成25年度から】

学部・学科・専攻		入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	
家政学部	被服学科	100	<u>10</u>	<u>420</u>	
	児童学科	50	<u>5</u>	<u>210</u>	
	ライフデザイン学科	100	<u>10</u>	<u>420</u>	
文学部	日本文学科	100	<u>10</u>	<u>420</u>	
	英文学科	100	<u>10</u>	<u>420</u>	
	コミュニケーション文化学科	100	<u>10</u>	<u>420</u>	
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	100	<u>10</u>	<u>420</u>
		環境情報学専攻	100	<u>10</u>	<u>420</u>
		情報デザイン専攻	100	<u>10</u>	<u>420</u>
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	75	<u>10</u>	<u>320</u>
		社会・臨床心理学専攻	75	<u>10</u>	<u>320</u>
	人間福祉学科	人間福祉学専攻	70	<u>10</u>	<u>300</u>
比較文化学部	比較文化学科	150	<u>15</u>	<u>630</u>	

2 学則変更（収容定員変更）の必要性

近年、IT化、グローバル化の進展など、社会・経済が急激に変化しているが、その変化への対応、また、社会の成熟化に伴い、幅広い年齢の人々に学習意欲が高まっており、文部科学省では、生涯学習社会の実現を目指し、教育システム全体の総合的な見直しを行っている。本学でも、平成20年9月24日に発表した「大妻学院のミッションと経営指針～創立100周年を迎え共に取り組むために～」において、「学院の社会的責任（地域社会との連携）」として社会人教育、生涯学習の支援を謳っており、その達成に向けて、現在検討を進めているところである。

また、短期大学の学生に目を向けると、在学中に一段と学習意欲が増し、さらに専門性を深めたいと考えたり、家庭の事情等から大学ではなく短期大学に入学したが、短期大学在学中にその事情等が解消されたため、本来目指していた大学に進学したいと考えたりする者が少なからず存在している。

このような状況の中、本学では、社会人や短期大学生の学習意欲を満たす手段の1つとして、本学への編入学の制度を設けることとした。

本学への編入学は現在でも行われているが、それは制度化されたものではなく、編入学定員は定めず、各学部・学科・専攻ごとに、退学等により在學生に欠員が生じた場合のみ、併設の大妻女子大学短期大学部の卒業生に限って編入学を認めるというもので、資料にあるように、学科・専攻により若干事情は異なるが、これまで、同短期大学部からの編入学試験の志願者がコンスタントに存在しており、これだけでも編入学定員を満たすことが想定ができる。欠員補充という性格から、編入学試験の募集人員は年度によって異なり、欠員がない年度においては、原則として編入学試験は実施されないこともあり、同短期大学部で開催している学生保護者との懇談会では、毎年本学の編入学試験についての問い合わせが多い。

このことは、「大妻女子大学短期大学部」から「大妻女子大学」への進学を期待しているものであり、「大妻」の教育に対する信頼性ともいえる。

加えて、具体的な数字に表すことはできないが、本学の編入学試験についての外部からの問い合わせも多く見受けられるため、本学への編入学に関心をもっている者が多いことがうかがえる。

同短期大学部の卒業生、在學生に対しては当該年度の編入学試験の実施を保証し、高等教育機関としての役割及び自らが掲げた前述の「ミッション」を果たすために、編入学定員を設けた、また、入学資格を同短期大学部の卒業生であることに限定しない、編入学の制度を設けることで社会における「大妻」への期待に応えるものと考え、学則変更（編入学定員を設ける収容定員増）を行う。

編入学生の確保の見通しとしては、これまでのような同短期大学部からの志願者に加え、積極的に募集広報活動を行い学内外の潜在的な志願者を掘り起こすことにより、十分確保できるものとする。

なお、同短期大学部では、18歳人口の減少、経済情勢の悪化等により入学者数が減少し、いわゆる定員割れを起こしていることから、定員充足率を向上させて同短期大学部の健全な運営に資するため、平成25年度から、1400名から1140名への収容定員減を行う予定であるが、教員数の大幅な削減は行わず、これを機に、これまで以上にきめ細やかな教育を行うことを目指すこととしており、その結果として、優秀な学生が本学に編入学してくることを期待するものである。

3 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

① 教育課程の変更内容

ここ数年にわたり、教育課程の整備として、全学的な共通理念のもとに教養教育、外国語教育、初年次教育等の充実を図るため、「全学共通科目」を開設し、学習の系統性、順次性を高めるため、履修年次や先修条件、科目内容を改定している。また、キャリア教育・職業教育の必要性に基づき、正課外ではあるが職業教育の一環としてキャリア教育講座「大妻マネジメントアカデミー」を平成23年度から開設した。学則変更（収容定員変更）を機に教育課程を変更するといったことは行わないが、今後も、「教育課程編成・実施の方針」に従って整備を行うことにしており、具体的には、キャリア教育講座の単位化や就業力育成の礎となす「キャリア学習入門」の正課化、主専攻・副専攻制の導入等を検討することになっている。

② 教育方法及び履修指導方法の変更内容

〈教育方法〉

演習科目や体験型授業を積極的に取り入れ、学生が主体的・能動的に学習することができるように図っている。それらの成果の一例として、「キャリア・デベロップメントプログラム」では、企業や地方自治体と連携したプログラムを実践し、高い評価を得ている。

また、平成22年度より、新入生対象の必修科目として「大妻教養講座」を開講し、建学の精神、大学生活の過ごし方等を解説し、学習の動機付けを行っている。

〈履修指導方法〉

ガイダンス、オフィスアワー、クラス担任・副担任制を活用してきめ細やかな履修指導・学習指導を行っている。

今回、学則変更（収容定員変更）を機に教育方法、履修指導方法、学級数等を変更するといったことは行わないが、以上の取り組みを継続して行うことにしており、また、現行の学級数を維持した場合であっても、収容定員増に伴う1学級あたりの増加人数が5名以下にとどまることもあり、学習支援体制を維持・向上することができると思う。

なお、併設の大妻女子大学短期大学部以外の卒業生に対しては、スムーズに本学の教育に溶け込めるよう、既修得単位の単位認定や編入学時のガイダンス等について、特に配慮を行うことにしている。

③ 教員組織の変更内容

このたびの収容定員増を行った場合の、大学設置基準に定める「学部の種類及び規模に応じ定める専任教員数」、「大学全体の収容定員に応じ定める専任教員数」については、現在の専任教員数のままでも、すでに基準を上回っており、きめ細やかな教育が十分可能であるため、学則変更（収容定員変更）に伴う教員組織の変更は行わないが、各教員の意識を高めるのはもちろんのこと、ティーチング・アシスタント等を積極的に活用するなどして、変更前と同等以上の教育の質を担保するよう努めることにしている。

資料 学則変更（収容定員変更）に係る学部・学科・専攻における直近5年間の編入学試験の募集人員・志願者数の状況

学部・学科・専攻			募集人員・志願者数					
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
家政学部	被服学科		募集人員	13	6	4	7	1
			志願者数	10	8	7	7	1
	児童学科	児童教育専攻	募集人員	1	4	1	12	1
			志願者数	1	5	2	0	0
	ライフデザイン学科		募集人員	8	9	1	1	5
			志願者数	20	24	4	5	11
文学部	日本文学科		募集人員	7	8	1	1	6
			志願者数	10	18	10	6	11
	英文学科		募集人員	8	6	8	8	14
			志願者数	11	8	13	11	5
	コミュニケーション文化学科		募集人員	11	3	1	7	1
			志願者数	9	7	6	11	2
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	募集人員	6	9	1	1	8
			志願者数	4	0	0	0	3
		環境情報学専攻	募集人員	40	21	28	4	16
			志願者数	6	6	17	3	5
		情報デザイン専攻	募集人員	32	1	1	1	1
			志願者数	5	1	0	0	0
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	募集人員	3	7	4	10	11
			志願者数	0	1	2	5	3
		社会・臨床心理学専攻	募集人員	1	13	12	6	6
			志願者数	0	2	1	1	1
	人間福祉学科	人間福祉学専攻	募集人員	4	6	2	1	1
			志願者数	2	2	0	0	1
比較文化学部	比較文化学科		募集人員	24	17	1	1	17
			志願者数	14	10	4	0	2

※ 環境情報学専攻、情報デザイン専攻、社会・臨床心理学専攻は、平成21年度の1年次から、それぞれ社会環境情報学専攻、社会情報処理学専攻、社会心理学専攻より名称変更

※ 2年次編入、3年次編入は、本表においては区別せず

※ 募集人員、志願者数は、第1次募集、第2次募集の合計数